

・11月28日(火)、連合静岡沼駿三田地域協議会様及び三島地区労働者福祉協議会様から「令和5年度自治体要望書」をいただきました。

町としましても、労働者の雇用環境や福祉向上を図るため、両協議会の皆さまと連携・協力し、安全で住みやすく働きやすい地域づくりに努めてまいります。



・11月28日(火)、ねんりんピック2023囲碁交流大会での全勝賞の受賞報告のため、江面雄次様が来庁されました。

静岡県代表として本大会に出場した江面様は、全国各地の予選大会を突破した方々が集うトーナメントにおいて、4戦全勝を達成し、6人いる全勝賞受賞者の中でもトップの成績を収められ、団体戦においても7位入賞の成績を収めました。

このたびの受賞を心からお祝い申し上げるとともに、江面様のさらなるご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



・11月28日(火)、清水町議会、湧創フォーラム及び新生会の皆さまから「令和6年度清水町予算編成及び今後の施策に関する要望書」をいただきました。

町としましても、町民の皆さまのご要望に応え、町民サービスの向上を図るため、財源の確保について最大限の努力をし、将来都市像である「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現を目指してまいります。



・11月25日(土)、第48回清水町農業祭を開催しました。

当日は、地元の農業者や団体の皆さま、JAふじ伊豆の皆さまにご出展いただき、新米や採れたての野菜の販売、紅白餅の配布などが行われ、多くの方々にご来場いただきました。

地元の食料供給を支える農業者の皆さまに敬意と感謝を申し上げるとともに、今後のさらなるご発展とご活躍をご祈念申し上げます。



・11月25日(土)、清水小学校創立150周年記念式典に出席しました。

式典には、児童や教職員、来賓の方々など600人以上が出席し、150年の歴史を振り返るスライドショーの上映や出席者全員による校歌の合唱などが行われました。

清水小学校の歴史を作り上げられた先人の方々に心から敬意を表するとともに、伝統を受け継ぎ、新たな歴史を刻んでいる児童の皆さまと教職員、学校関係者、地域の皆さまのさらなるご活躍とご健勝、そして清水小学校のますますのご発展をご祈念申し上げます。



・11月24日(金)、第13回税に関する絵はがきコンクールの清水町長賞を受賞された西小学校6年生の芹澤翠美（せりざわみと）さんに表彰状を授与しました。

本コンクールは、沼津法人会女性部会様が主体となり、小学校4年生～6年生の児童を対象に、税への関心を持ってもらうことを目的に実施しているものであり、本年度は、芹澤さんの素晴らしい絵はがき作品が清水町長賞を受賞しました。

このたびの受賞に心からお祝いを申し上げますとともに、芹澤さんのさらなるご活躍を期待しています。





・11月22日(水)、第24回静岡県市町対抗駅伝競走大会壮行会に出席しました。

12月2日(土)に開催される今大会は、清水町にとって連覇のかかった重要な大会となります。

大会に向けて厳しい練習に取り組み、努力を続ける選手と関係者の皆さまに心から敬意を表するとともに、大会当日は、選手一人一人が日頃の成果を十分に発揮し、昨年の大会に負けないパワーあふれる走りを期待しています。



・11月22日(水)、第1回清水町指定管理者制度導入施設評価委員会を開催し、学識経験者として委員にご就任いただいた中山勝様に委嘱状を交付しました。

本委員会は、指定管理者の業務が適切に履行されているかを継続的に確認・評価するものであり、各施設における更なる利用者のサービス向上を図るための重要な役割を担っています。今回は、6施設3事業者の施設管理の状況についてモニタリングを実施しました。



・11月21日(火)、第21回JA共済トーナメント静岡県少年軟式野球大会での優勝報告のため、清水町ドリームキッドの皆さまが来庁され、町から奨励品をお渡ししました。

本大会では、県内の支部予選を勝ち抜いてきた40チームにより、静岡県の頂点が争われ、数多くの激戦を制した清水町ドリームキッド様が見事優勝を果たしました。

チームの皆さまの素晴らしい功績と日々の絶え間ない努力に心から敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待しています。

11月23日(祝)には、県内の主要大会を制した4チームが出場する、第11回三立製菓チョコバット杯兼第27回静岡県学童軟式野球選手権大会で、優勝を果たしました。誠にありがとうございます。



・11月21日(火)、柿田川公園検討委員会を開催し、委員の皆さまに委嘱状を交付しました。

本委員会は、柿田川公園の良好な環境づくりや計画的な整備を図るために設置され、委員の皆さまには、公園の基本計画の見直しや事業計画についてご審議いただきます。

柿田川の保護・保全を第一に考えながら、町内外の多くの方々に愛される公園整備を行うため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



・11月14日(火)、(仮称)狩野川新橋及び都市計画道路西間門新谷線の整備促進について、県への要望活動を行いました。

【要望先】

静岡県交通基盤部、沼津土木事務所、自由民主党静岡県連合会

【同行者】

坪内秀樹 県議会議員、佐野俊光 町議会議長、秋山治美 副町長

【要望内容】

・(仮称)狩野川新橋の事業推進

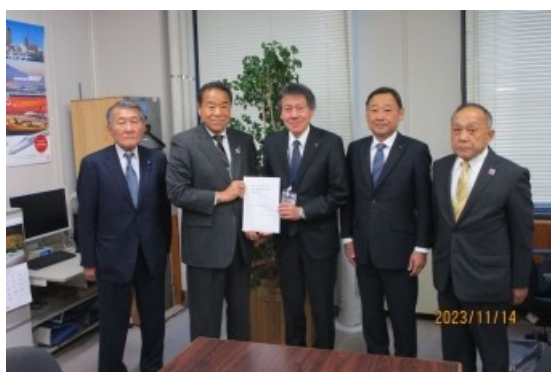
町では、新たな南北軸の形成を目指し、その一環をなす都市計画道路玉川卸団地線の整備手法とともに(仮称)玉川卸団地線南伸道路の検討を進め、さらに県による(仮称)狩野川新橋の整備が事業化されているところであります。

については、(仮称)狩野川新橋の整備のさらなる推進と、(仮称)玉川卸団地線南伸道路に接続する県道清水函南停車場線との交差点の一体的な整備における、県と町との同時施工に向けた工程の検討を要望しました。

・都市計画道路西間門新谷線の整備促進

都市計画道路西間門新谷線は、県事業として第4工区の整備に取り組んでいただいております、引き続き整備の促進をお願いしました。

また、第5工区についても県事業として推進していただくよう要望しました。





・11月20日(月)、公益社団法人沼津法人会清水支部の皆さまとの意見交換会に出席しました。

意見交換会では、町内の観光資源の有効活用や町内企業の活性化、若い世代を対象とした効果的な事業の実施など、多岐にわたるご意見をいただきました。

不安定な社会情勢が続く中ではありますが、町としましても、産業の活性化や地域の更なる振興に向けて、皆さまとの協働によるまちづくりに取り組み、「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現を目指してまいります。



・11月20日(月)、U-12ホッケードリームキャンプに参加する清水小学校6年生の三室洋太（みむろようた）選手が来庁され、町から奨励品をお渡ししました。

U-12ホッケードリームキャンプは、将来、国際的に活躍できる選手を発掘・育成することを目指すとともに、全国各地域における小学生世代の交流やホッケー競技の普及等を目的として実施されるものです。

このような素晴らしいキャンプに選出された三室選手に心から敬意を表するとともに、キャンプでの貴重な経験や仲間との出会いを通じて、より一層成長されることを期待しています。



・11月18日(土)、第43回清水町ふれあい広場に出席しました。

清水町ふれあい広場は、本年度、法人設立50周年を迎えられる町社会福祉協議会様が主催となり、町民の皆さまと福祉に関する機関・団体・個人が交流する催しで、町福祉センターを会場に、各種表彰や参加団体による出店、スタンプラリー、抽選会などが行われました。

町においても、福祉施策の充実を図り、「誰もがやすらぎと生きがいを感じる『笑街健幸』のまち」の実現を目指すため、今後も社会福祉協議会や関係機関・団体の皆さまと相互に連携してまいります。



・11月15日(水)、令和5年度全国町村長大会に出席しました。

本大会は、全国の900を超える町村長の総意を結集し、各町村が地域の特性や資源を生かした施策を自主的・自立的に展開できるよう、多様で個性溢れる町村の実現を目指すとともに、人口減少や少子高齢化を克服し、首都圏に集中する社会機能を地方へ分散させる「分散型国づくり」等により、災害や感染症に強く、持続可能な活力のある地域の創生を期すために開催されました。

大会においては、少子化対策の推進による子ども・子育て政策の強化や、実効ある経済対策による地域経済の再生、豪雨災害等からの復旧・復興の加速と全国的な防災・減災対策、国土強靱化の推進などを決議し、国に対する要望を行いました。





・11月13日(月)、国保制度改善強化全国大会に出席しました。

本大会は、全国の市町村長をはじめ国保関係者が一堂に会し、国民健康保険が直面する諸問題の改善を期すために開催されました。

大会終了後には、国保の財政基盤強化のための公費投入や医療・保健・介護人材確保のための国の支援強化などについて、静岡県の代表として、山梨県昭和町長様と国会議員に陳情を行いました。



・11月12日(日)、清水町芸術祭～舞台発表の部～を開催しました。

芸術祭は、町民の皆さまの多様な芸術文化の発表・展示を行う場として開催しており、今年度で53回目を迎えました。

当日は、24団体の皆さまが器楽演奏や合唱、ダンスなどを発表し、多くの来場者の前で日ごろの練習の成果を披露しました。

展示発表の部は、11月30日(木)まで、町地域交流センターで開催していますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。



・11月9日(木)、中部地区の自治体が参加する「中部国道協会による促進大会」に出席しました。

大会では、中部地方の広域幹線道路ネットワークの整備、道路施設の老朽化対策、災害に備えるための道路ネットワーク整備などの要望が発表されました。また、静岡県国道協会からは伊豆縦貫自動車道および東駿河湾環状道路の整備推進についての要望が発表されました。

同日午後、「治水事業促進大会」に出席しました。治水事業は、洪水等の災害から国民の生命と財産を守り、健康で豊かな生活環境と安全で活力ある社会を実現するために、最も根幹となる重要な社会資本整備です。近年、多発する集中豪雨等による災害に対し、治水事業を継続的、迅速に対応するためには、予算や人員確保等を国へ働きかけることが重要であることから、大会終了後、静岡県選出国會議員に要望活動を行いました。



・11月8日(水)、全国道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会全国協議会・全国高速道路建設協議会・全国街路事業促進協議会の道路関係4団体による「安全・安心の道づくりを求める全国大会」に出席しました。

同大会では、国に新たな財源の確保や、令和5年度補正予算・令和6年度の道路関係予算について必要な予算の確保を図ることを求めることを決議しました。大会終了後は、静岡県選出の国會議員に要望活動を行いました。



・11月6日(月)、瑞宝単光章の受章報告のため、原とく様（徳倉）が来庁されました。

この章は、国または地方公共団体の公務等に長年にわたり従事し、功労を積み重ね、功績を挙げた方を表彰するものです。

原様は、民生・児童委員を平成4年から30年間務められるとともに、清水町民生委員児童委員協議会長や清水町社会福祉協議会理事といった役職を担われるなど、その顕著な功績が評価され受章に至りました。

原様のこれまでの功績に心から敬意と感謝を表するとともに、今後のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。



・11月5日（日）、役場職員互助会における研修旅行で、国土交通省江戸川管理事務所が管轄している首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）の見学に行ってきました。

近年の局地的な集中豪雨により、住民の生活を脅かす状況が発生しているなか、治水事業として堤防整備や河道掘削などの河川整備は喫緊の課題であります。そのような中で、治水安全度向上のための好事例として、首都圏外郭放水路の成果は国内外で大きな評価を得ています。実際に地下22mに位置する調圧水槽（地下水路のトンネルから流れてきた水の勢いを弱め、江戸川へスムーズに流すための施設）を見学しましたが、内部は壮大な地下空間の中に荘厳な雰囲気があり、柱と空間の巨大さから「地下神殿」とも表現されているそうです。

事業の大小はあるものの、治水事業として長年洪水に悩まされてきた流域の被害を大きく軽減した事業として大変参考になりました。





・11月3日（祝）、町制施行60周年記念式典を開催し、海外姉妹都市であるカナダ・スコミッシュ市のアーマンド・ハーフォード市長をはじめ、多くの皆さまにご臨席いただきました。

式典の部では、町の発展に貢献された152人と1社を表彰しました。また、清水中学校・南中学校吹奏楽部による演奏が行われたほか、町のイメージキャラクター「ゆうすいくん」に感謝状を贈呈しました。

演奏の部では、町出身のピアニスト三浦香鈴さんによるピアノリサイタルが行われ、多くの皆さまが優しく魅力的な旋律を楽しみました。

町政の発展のためにご尽力いただいたすべての皆さまに心から敬意と感謝を表するとともに、さらなる町の発展を目指すため、町民の皆さまとの協働・協創によるまちづくりを推進し、「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けて邁進してまいります。

